

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告 書

概 況

漁業従事中の海難等の災害により遺児となった子のため、主に以下の3つの事業を行った。

本会育英事業は、遺児が社会に出るまでの長期間にわたり継続した支援が必要なため、安定した事業運営が継続できるよう社会・経済の変化に適切に対応し、財務基盤の充実と業務の改善に努めた。

I. 事 業 状 況

1. 学資給与事業

学資給与事業は、以下の区分ごとに定めた金額を給与した。

幼児は月額12,000円、小学生は月額13,000円、中学生は月額24,000円、高校生等（特別支援学校含む）は月額30,000円、大学生等は月額50,000円。（前年度と同額）

入学・卒業記念品代として、小学校新入生は1人70,000円、中学校及び高等学校等新入生は1人50,000円、大学等新入生は1人150,000円を贈呈した。

（1）奨学生の状況

学資給与を希望する者から願書を受け、奨学生選考委員会で選考決定した。

本年度の奨学生の状況は、表－1のとおり。

前年度からの継続者が116人、新規採用者が16人、高校生等・大学生等で中途退学した者が3人、復学者が1人おり、年度末の奨学生は130人となった。

表－1 2 0 2 4 年 度 学資給与奨学生の状況

（単位：人）

区 分	継続者	新 規 採 用 者					異 動 (増・減)	年 度 末 現 在
		第1回	第2回	第3回	第4回	計		
幼 児	3	1				1		4
小 学 生	20	1				1		21
中 学 生	25 (1)	1				1		26 (1)
高校生等	38 (1)	2				2	△ 1	39 (1)
大学生等	30	8	3			11	1 △ 2	40
計	116 (2)	13	3	0	0	16	△ 2	130 (2)

注：（ ）の数字は特別支援学生で内数である。

（2）学資給与の実績

学資給与は、3カ月ごとに年4回送金し、総額50,152,000円を給与した。

内訳は、幼児給与金576,000円、小学生給与金3,276,000円、中学生給与金7,200,000円、高校生等給与金14,400,000円、大学生等給与金24,700,000円である。

（3）入学記念品の贈呈

入学記念品は、総額2,290,000円を贈呈した。

内訳は、入学記念品として小学校新入生に140,000円、中学校新入生に350,000円、高等学校等新入生に450,000円、大学等新入生に1,350,000円である。

本年度の都道府県別奨学生数及び給与額は、別表(1)のとおりである。

この学資給与事業には、寄附金とそれらを財源とする資産の運用益を充当した。

2. 奨学金貸与事業

2019年度から学資給与事業のみとなり、新規の奨学金貸与は行っていない。

現在は、過去の奨学貸与金の返還受領と延滞者への督促を行っている。

本年度の返還総額は16百万円で、本年度末の奨学貸与金残高は183百万円となった。（表－2）

表－2 2024年度 貸与金返還等の状況

（単位：人、円）

区 分	実人数	金 額
A. 前年度末奨学貸与金残高	232	200,420,370
B. 本年度奨学貸与金返還総額 (内返還完了者)	154 (15)	16,524,600
C. 本年度奨学貸与金返還免除額 (特別免除) (免 除)	0	0
D. 本年度末奨学貸与金残高 (D=A-B-C)	217	183,895,770

3. 育英事業の推進に必要な事業

(1) 募 金 活 動

漁船海難遺児を励ます全国協議会、地方協議会、水産関係団体等、JFグループの支援を受けて、財務基盤強化のための募金活動を全国で行った。

(2) 普及指導活動

ア. 「育英会だより」の発行

年4回、各4,000部を発行し、遺児家庭、励ましおじさん・おばさん、JFグループ、その他関係者に配布した。

イ. 奨学生・保護者との交流活動

奨学生と保護者、奨学生同士、保護者相互の交流を深めるため、毎年、子供の夏休みに宿泊を伴う「ふれあい旅行」を実施している。本年度は7月26～28日に栃木県茂木町とその周辺で実施し、奨学生8人、保護者5人の計13人が参加した。

ウ. イベントでの広報、募金活動

広く社会、業界関係者に漁船海難遺児のための育英事業を知ってもらい、今後、支援を広げるため、全国豊かな海づくり大会など大型イベント会場で、育英会活動内容の広報、資料の配布、募金活動を実施した。

エ. その他広報

本会の活動内容を多くの国民に知ってもらい広く支援を得るため、報道機関等への広告出稿、取材等の協力を得るなどの広報活動を行った。

ホームページは常に最新の情報へ更新し、情報発信を行った。

(3) 実 態 調 査 等

中学校、高等学校等及び大学等の卒業生の進学・就職に関する動向等、卒業後の進路を調査した。加えて、地励協の支援、協力を得ながら、奨学生、遺児家庭からの就学、進路などに関する相談にも対応し、奨学生が希望する進路の選択、就学の継続ができるよう支援した。

II. 寄附金、基本財産、特定資産

1. 寄附金（修学助成寄附金）

（1）水色の羽根募金

個人から大口の寄附金（20百万円）を受けたため、寄附金総額は62百万円となった。（表－3）

表－3 2024年度一般寄附金実績
(単位：円、%)

区 分	金額	構成比
J F グ ル ー プ 募 金	21,759,541	34.9
一 般 寄 附 金	40,537,080	65.1
合 計	62,296,621	100.0

（2）励ましおじさん・おばさん奨学資金

定期的に継続してご支援をいただく「励ましおじさん・おばさん」は69人（年度末）で、寄附の合計額は2,563,500円となった。

2. 基本財産

基本財産は、年度末時点で5,936百万円となっている。（表－4）

表－4 2024年度期末基本財産額
(単位：円)

本 年 度 期 首 額	5,944,265,543
投 資 有 価 証 券 償 還 額	300,000,000
投 資 有 価 証 券 購 入 額	291,483,000
投 資 有 価 証 券 当 期 償 却 額	704,556
本 年 度 期 末 額	5,936,453,099

3. 特定資産（修学助成資金積立資産）

特定資産のうち修学助成資金積立資産は、期末時点で524百万円となっている。（表－5）

表－5 2024年度期末修学助成資金積立資産額
(単位：円)

本 年 度 期 首 額	446,382,857
本 年 度 増 加 額	99,844,232
本 年 度 減 少 額	21,631,577
本 年 度 期 末 額	524,595,512

本年度期末額524,595,512円の内訳は、投資有価証券100,000,000円、預貯金424,595,512円である。

以 上